

生徒の皆さん、覚えておいてください

「調査書」を知っていますか。これは受験するとき、中学校が作成する書類のことです。よく「内申書」ないしんしょなどとも呼ばれますが、正式には「調査書」と言います。

これには、成績、中学時代の活躍、出欠席日数などの細かな情報
が書き込まれます。安心してください。生徒にとって不利になる内
容は一切書かれていません。事実、実績を書くことになってい
ます。校長の私が内容を確認し、押印したものでないと提出できません。
その書類の最終責任者は担任ではなく、私ですから。

今朝、私の印をもらうために、三年担任のK教諭が一枚の調査書
をもって校長室にやってきました。下書きは前日に提出されていた
ので、書かれている内容に問題がないことはわかっていました。後は
清書に誤字脱字がないことを確認して押印するだけです。

「校長印をお願いします」と言ってK教諭が差し出した調査書を
見て、私はびっくりしました。前日見た下書きとはうって変わって大
きさや位置が見事にそろった、一点一画もおろそかにしていない見
事な文字がそこに並んでいたからです。

印を押すだけならすぐに終わりますが、私はその調査書を手に
取り、しばらく見つめてしまいました。進路に立ち向かう生徒に対
するK教諭の応援の気もちが、一枚の書類にあふれているように感
じたからです。

私もそうでした。やがて進学を迎える生徒たちを応援するため
に担任ができることは、心を込めて書類を作ることです。入試関係
の書類は全て手書きだったころ、私も下書きをしました。清書では、
文字の丁寧さはもちろん、生徒のよさをたくさん書きたいと考え、
米粒みたいな小さな文字を並べました。すると、学年主任に「書き
すぎだよ。文字が小さくて読みにくい」と注意されたこともありま
した。当時は、公立高校にも推薦入試があり、これを受験する生徒
のために、一人当たり複数枚の書類を書いていました。

生徒の皆さん、覚えておいてください。あなたたちの進学のため
に、あなたたちの知らないところで、私たち教師は緊張や努力をし
ています。願書を書くときに「丁寧に」と言われるでしょうが、実は
担任も調査書を丁寧に書いています。今はパソコンで打つことが主
流ですが、それであっても一つの誤字脱字も許されません。適当な
文面は一つもありません。三年職員だけでなく、全職員で書類を複
数回確かめます。そして、最後に私が押印するのです。

入試は中学校と高校の信頼関係で成り立っています。中学校で
育った生徒を、中学校がどのような心構えで送り出しているかは、
書類でわかります。そう考えると、私たち教師にとって書類作成は
緊張することですが、育てた生徒たちのアピールであり、その生徒
たちに対するエールでもあるので力が入ります。いよいよ、私立推
薦入試からスタートです。三年生、頑張れよ！（一月二十日 記）